



IBM Lotus Sametime 用 Cisco Click-to Call プラグインの設定の概要

この章では、IBM Lotus Domino Server に Cisco Click-to-Call プラグインをインストールする手順、および Click-to-Call プラグインから発信されたコールを受け入れるように Cisco Unified Communications Manager を設定する手順について説明します。

この章には、次の項があります。

- [前提条件 \(P.5-1\)](#)
- [Cisco Click-to-Call プラグインのインストール \(P.5-2\)](#)
- [Cisco Click-to-Call プラグインの設定 \(P.5-3\)](#)
- [Cisco Click-to-Call 用の Lotus Sametime Server の設定 \(P.5-6\)](#)
- [Cisco Click-to-Call 用の Cisco Unified Communications Manager の設定 \(P.5-7\)](#)
- [SIP トランク セキュリティプロファイルの設定 \(P.5-7\)](#)
- [Lotus Sametime Server 用の SIP トランクの設定 \(P.5-7\)](#)
- [SIP トランクでのダイジェスト認証の設定 \(P.5-8\)](#)
- [ユーザ名とパスワードの設定 \(P.5-9\)](#)

前提条件

Click-to-Call プラグインをインストールする前に、次のソフトウェアがインストールされていることを確認します。

- IBM Lotus Domino Server 7
- IBM Sametime Server 7.5.1
- Cisco Unified Communications Manager Release 6.0(1)

IBM Lotus Domino Server をインストールまたはアップグレードする方法については、次の URL で適切なインストールマニュアルを参照してください。

<http://www-128.ibm.com/developerworks/lotus/documentation/domino/>

Lotus Sametime をインストールして設定する方法の詳細については、次の URL で適切なマニュアルを参照してください。

<http://www-128.ibm.com/developerworks/lotus/documentation/sametime/>

Cisco Unified Communications Manager Release 6.0(1) のマニュアルについては、次の URL を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

Cisco Click-to-Call プラグインのインストール

Cisco Click-to-Call プラグインをインストールするには、次の手順に従います。

手順

-
- ステップ 1** プラグインをインストールするコンピュータに Cisco Click-to-Call をダウンロードします。
- ステップ 2** Click-to-Call プラグインをインストールするマシンで、Lotus Domino Server サービスを停止します。



ヒント

サービスを停止する方法については、オペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

- ステップ 3** InstallShield ウィザードを起動するには、オペレーティング システムに適切な Click-to-Call プラグインをダブルクリックします。

[InstallShield Wizard for Cisco Click to Call 6.0(1)] が表示されます。

- ステップ 4** [次へ] をクリックします。

インストールの概要ウィンドウが表示されます。

- ステップ 5** インストールの概要情報を確認したら、[インストール] をクリックしてインストールを確認します。

ウィザードによってプラグインがインストールされ、追加の概要情報が表示されます。

- ステップ 6** インストールを完了するには、[完了] をクリックします。



(注)

Lotus Domino Server サービスを開始する前に、Cisco Click-to-Call プラグインを設定する必要があります。P.5-3 の「Cisco Click-to-Call プラグインの設定」を参照してください。

Cisco Click-to-Call プラグインの設定

Cisco Click-to-Call プラグインを設定するには、次の手順に従います。



(注) Lotus Domino Server サービスを開始する前に、関連する Cisco Unified Communications Manager Server を少なくとも 1 つ設定する必要があります。

手順

ステップ 1 Cisco Click-to-Call プラグインをインストールしたコンピュータで、次のディレクトリに進みます。

```
\lotus\domino
```

ステップ 2 テキスト エディタを使用して、次のファイルを開きます。

```
ClickToConfCUCM.properties
```

ステップ 3 少なくとも 1 つの関連する Cisco Unified Communications Manager Server の名前とポート番号を指定します。

ステップ 4 インストールに必要な他のパラメータ値を指定します。

例 5-1 は、Cisco Click-to-Call プラグインのプロパティ ファイルを示しています。

ステップ 5 必要な値を指定したら、ClickToConfCUCM.properties ファイルを保存します。

ステップ 6 Lotus Domino Server サービスを開始します。

ステップ 7 Lotus Domino Server サービスが実行されていることを確認します。



ヒント サービスを開始する方法については、オペレーティング システムに付属のマニュアルを参照してください。

例 5-1 Cisco Click-to-Call プラグインのプロパティ ファイル

```

#Cisco Click to Call 6.0(1) v124 (Sametime Server Plug-in) configuration file

#Note: For changes made to this file to take effect, you will need to restart the Lotus Domino Server.

#APPLICATION_NAME (optional)
#This field should be alphanumeric.
#Valid characters include alphabet(A-Z and/or a-z) and numbers(1-9) only.
#Default: c2c
APPLICATION_NAME=

#LOCAL_LISTENER_HOST (optional)
#Set the ip address/fqdn that your Sametime Server is listening on.
#Defaults to the first active ip address of the system, if left empty.
LOCAL_LISTENER_HOST=

#LOCAL_LISTENER_PORT (optional)
#Set the port that you want to listen on for SIP messages.
#It needs to be a unreserved port between 0 and 65535.
#Defaults to 5060 if left empty.
LOCAL_LISTENER_PORT=

#Call Managers (required)
#Atleast one CUCM[X]_HOST _must_ be configured
#Add as many as you like, as long as they are numbered sequentially.

#If the host is an ip address:
#      * If you do not specify a port, the port will default to 5060

#If the host is a dns name and if DNS_SRV_SUPPORT is disabled (default):
#      * If you do not specify a port, the port will default to 5060

#If the host is a dns name and if DNS_SRV_SUPPORT is enabled:
#      * Read the comments for DNS_SRV_SUPPORT.

CUCM1_HOST=
CUCM1_PORT=

CUCM2_HOST=
CUCM2_PORT=

CUCM3_HOST=
CUCM3_PORT=

CUCM4_HOST=
CUCM4_PORT=

CUCM5_HOST=
CUCM5_PORT=

CUCM6_HOST=
CUCM6_PORT=

CUCM7_HOST=
CUCM7_PORT=

CUCM8_HOST=
CUCM8_PORT=

CUCM9_HOST=
CUCM9_PORT=

CUCM10_HOST=
CUCM10_PORT=

#Application's Credentials for digest authentication (optional)
#Add as many as you like, as long as they are numbered sequentially.
REALM1=

```

```
REALM1_USERNAME=  
REALM1_PASSWORD=  
  
REALM2=  
REALM2_USERNAME=  
REALM2_PASSWORD=  
  
REALM3=  
REALM3_USERNAME=  
REALM3_PASSWORD=  
  
REALM4=  
REALM4_USERNAME=  
REALM4_PASSWORD=  
  
REALM5=  
REALM5_USERNAME=  
REALM5_PASSWORD=  
  
#MODE (optional)  
  
#Either "sequential" or "roundrobin"  
#sequential mode: Every new Click To Call request will go to the first CUCM configured. If that CUCM  
# does not respond, it will then use the sequentially next configured CUCM.  
#round_robin mode: Every new Click to Call request will go to the least used CUCM. If that CUCM  
# does not respond, it will then use the next least used CUCM.  
#Default: sequential  
MODE=  
  
#DNS_SRV_SUPPORT (optional)  
#Either "true" or "false"  
  
#true: Enables DNS SRV support.  
#false: Disables DNS SRV support.  
  
#Notes: If DNS_SRV_SUPPORT is enabled:  
# * You _must_ use fully qualified domain names for all your CUCM[X]_HOST's  
# * If you do _not_ specify a CUCM[X]_PORT then a DNS SRV lookup will  
# be attempted for the hostname. The port is determined from the  
# SRV lookup.  
# * If you _do_ specify a CUCM[X]_PORT, then an A lookup will be  
# attempted for the hostname provided.  
# * DNS SRV should not be used for load balancing. If you wish to load balance  
# set the MODE to "roundrobin".  
  
#Default: false  
DNS_SRV_SUPPORT=
```

Cisco Click-to-Call 用の Lotus Sametime Server の設定

Cisco Click-to-Call と連携するように Lotus Sametime Server を設定するには、次の手順を使用します。

手順

ステップ 1 Lotus Sametime Server にアクセスするには、次の URL を入力します。

`http://server-address/stcenter.nsf`

各部の説明は以下のとおりです。

`server-address` は、Lotus Sametime Server のドメイン名または IP アドレスです。

ステップ 2 表示されるウィンドウで、**[Administer the Server]** リンクをクリックします。

ステップ 3 Lotus Sametime Server にログインします。

ステップ 4 ログインした後、**[Policies]** リンクをクリックします。

ステップ 5 Cisco Click-to-Call を動作させるには、次のパラメータが有効であることを確認します。

[Allow telephony for contact lists, instant messaging, and instant meetings]

ステップ 6 他のポリシーがサイト用に正しく設定されていることを確認します。

Cisco Click-to-Call 用の Cisco Unified Communications Manager の設定

Cisco Click-to-Call プラグインと連携するように Cisco Unified Communications Manager を設定するには、次の手順を使用します。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』を参照してください。

SIP トランク セキュリティ プロファイルの設定

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページから、[システム] > [セキュリティプロファイル] > [SIP トランクセキュリティプロファイル] を選択します。

[SIP トランクセキュリティプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Trunk Security Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

[SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** この SIP トランク セキュリティ プロファイルの名前と説明を入力します。
- ステップ 4** [アウトオブダイアログ REFER の許可 (Accept Out-of-Dialog REFER)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。

Lotus Sametime Server 用の SIP トランクの設定

Lotus Sametime Server 用に SIP トランクを設定して、その SIP トランクを SIP トランク セキュリティ プロファイルに関連付けるには、次の手順を使用します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページで、[デバイス] > [トランク] を選択します。

[トランクの検索と一覧表示 (Find and List Trunks)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。

[トランクの設定 (Trunk Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** [トランクタイプ] ドロップダウンメニューから、[SIP Trunk] を選択します。
- ステップ 4** [デバイスプロトコル (Device Protocol)] : デフォルト値の [SIP] を受け入れます。
- ステップ 5** [次へ] をクリックします。
- ステップ 6** このトランクのデバイス名と説明を入力します。
- ステップ 7** [デバイスプール (Device Pool)] : [デフォルト] を選択します。
- ステップ 8** [接続先アドレス (Destination Address)] : Lotus Sametime Server の IP アドレスを入力します。
- ステップ 9** [SIP トランクセキュリティプロファイル (SIP Trunk Security Profile)] : 作成した SIP トランク セキュリティプロファイルを選択します。
- ステップ 10** [SIP プロファイル (SIP Profile)] : [Standard SIP Profile] を選択します。
- ステップ 11** [保存] をクリックします。
- ステップ 12** 変更内容を有効にするには、[リセット] をクリックします。

SIP トランクでのダイジェスト認証の設定



(注) この項の手順を実行して、認証されたユーザだけがトランクにアクセスできることを保証できます。ただし、この項の手順はオプションであることに注意してください。

SIP トランクでダイジェスト認証を設定するには、次の手順を使用します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager の管理ページから、[システム] > [セキュリティプロファイル] > [SIP トランクセキュリティプロファイル] を選択します。
- [SIP トランクセキュリティプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Trunk Security Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [検索] をクリックします。
- ステップ 3** Cisco Click-to-Call 用に作成した SIP トランク セキュリティプロファイルをクリックします。
- [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 4** [ダイジェスト認証を有効化 (Enable Digest Authentication)] チェックボックスをオンにします。

- ステップ 5** [保存] をクリックします。
- ステップ 6** 変更内容を有効にするには、[リセット] をクリックします。
- ステップ 7** レルムを設定するには、[システム] > [エンタープライズパラメータ] を選択します。
- ステップ 8** [Cluster ID] フィールドに、適切な値を入力します。
-

ユーザ名とパスワードの設定

SIP 認証用の新しいユーザ名とパスワードを設定するには、次の手順に従います。

手順

- ステップ 1** [ユーザ管理] > [アプリケーションユーザ] を選択します。
- [アプリケーションユーザの検索と一覧表示 (Find and List Application Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [新規追加] をクリックします。
- [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** ユーザ ID、パスワード、およびダイジェスト信用証明書を入力します。
- ステップ 4** [アウトオブダイアログ REFER の許可 (Accept Out-of-Dialog REFER)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 5** [保存] をクリックします。
- ステップ 6** [システム] > [セキュリティプロファイル] > [SIP トランクセキュリティプロファイル] を選択します。
- [SIP トランクセキュリティプロファイルの検索と一覧表示 (Find and List SIP Trunk Security Profiles)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 7** [検索] をクリックします。
- ステップ 8** Cisco Click-to-Call 用に作成した SIP トランク セキュリティ プロファイルをクリックします。
- [SIP トランクセキュリティプロファイルの設定 (SIP Trunk Security Profile Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 9** 変更内容を有効にするには、[リセット] をクリックします。
-

